



20年経って、あらためて思う。

本屋は、愛と好奇心で
できている。

未知の世界、自分では思いもよらなかった
世界とつながることのできる場所。それが本屋さんだと思います。
私たちが本屋さんで足を運ぶのは、自分自身や他者を深く知り、
考え、広い世界へと想像の翼を
羽ばたかせたいからかもしれないな、と。
そのとき手助けしてくれるのが、POPや並べかたに
工夫をこらして、本を我々に届けくださる書店員さんです。
本屋さんに行くたび、多くのひとの愛と好奇心が充満する場で
あることを感じ、胸が高鳴ります。

三浦ひとみ

2012年大賞「舟を編む」

全国の書店員が選んだいちばん売りたい本 本屋大賞 20th 開催中!



手帳ブランド NOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

NOLTY[®]
SINCE 1949